

令和5年4月17日
国立研究開発法人 水産研究・教育機構
水産資源研究所
水産資源研究センター長

資源評価ピアレビュー報告書への対応について

令和4年11月に2回のピアレビュー委員会を開催し、令和3年度のズワイガニ3資源（日本海系群A海域、日本海系群B海域、太平洋北部系群）とスルメイカ2資源（冬季発生系群、秋季発生系群）の資源評価について、日米の専門家（Steven Teo 博士、Edward Dick 博士、庄野宏博士）のレビューを受けました。

1回目の委員会では米国の専門家2名（Teo 博士とは対面、Dick 博士とはリモート接続によるハイブリッド）に、また2回目の委員会では日本の専門家1名（庄野博士と対面）にご参加いただき、それぞれにおいて対象5資源全ての資源評価について意見交換や議論を行いました。今回の対象5資源は、過去2年の対象資源であるさば類やスケトウダラなどとは利用する資源評価モデルが大きく異なることもあり、資源構造、資源評価を行う上での基本的なパラメーター設定、現在利用している資源評価モデル以外の解析手法の検討など多くの指摘や助言をいただきました。水産資源研究センターでは、これらのご指摘を別紙の表にとりまとめ、担当研究者を中心にそれらへの対応方針を示しました。

これらの対応方針のもとで、今後5年ごとに予定しております見直しに向けて、当センターとして検討を続け、既に実施あるいは着手している事項については、順次今後の資源評価に適用してまいります。時間を要する課題や担当研究者の努力のみによって解決できない事項についても、関係者のご協力を得ながら取り組んでまいりたいと考えております。

以上